

# 森の村長さん誰を選ぶ？

## 園児楽しく模擬投票

### 県推進協など 選挙へ関心を



県明るい選挙推進協議会と県選挙管理委員会は5日、福井市天池町の仁愛女子短大付属幼稚園で「明るい選挙出前塾」を開いた。年中組園児61人が紙芝居や模擬投票で楽しみながら学んだ。子どもたちに選挙を知ってもらい、保護者となる若い世代への関心を高めようと開いた。同短大

の学生30人も参加した。県明るい選挙推進青年活動隊「CEPT」の亀田実里代表(22)＝県立大4年＝が、「今日は一緒に楽しく学ぼうね」とあいさつ。亀田さんら2人は「誰を新しい動物の森の村長に選ぶか」というテーマの紙芝居で選挙について説明した。園児は登場したオオカミ、ウサギ、リスの3匹の「演説」を聞いて村長になってほしい動物を選び、本物の銀色の投票箱に票を投じた。

竹野遥香ちゃん(5)は「選挙は初めて知った。紙に名前を書くのが楽しかった」と笑顔。青池正起君(5)は「リスさんに投票した。お父さんやお母さんに教えてあげた」と話していた。

稚園

# 福井の園児ら

## 模擬投票体験

### 県選管が出前塾

県選挙管理委員会の  
 明るい選挙出前塾が五  
 日、福井市天池町の仁  
 愛女子短大付属幼稚園  
 で開かれた。園児約六  
 十人が模擬投票などを  
 体験し、選挙や政治に  
 ついて理解を深めた。  
 県内では三十代の投  
 票率が低いことから、  
 その子どもの世代であ

る園児たちを通じて、  
 親たちが選挙に関心を  
 持つきっかけにしても  
 らおうと、昨年からは  
 内の幼稚園で開催して  
 いる。

県選管が募った十  
 二代の若者ボランティア  
 でつくる「県明るい  
 選挙推進青年活動隊  
 『CEPT』」の加藤

佑紀さん(二)ら隊員二  
 人が司会を担当。教育  
 実習中の仁愛女子短大  
 一年の学生三十人が手  
 助けした。

児童らは、森の動物  
 たちが村長を決める物  
 語を題材にした紙芝居  
 を楽しみながら、投票  
 用紙の書き方や選挙に  
 ついて学習。食べ物  
 を独り占めするオオカミ  
 や、平等分配を公約に  
 掲げたリスなど、三匹  
 の動物候補への投票を  
 じっくり考え、本物の  
 投票箱に投票用紙を入

れた。辻陸仁君(五)は  
 「候補者を選ぶのは大  
 い」と話していた。  
 (山内悠記子)



本物の投票箱を使って模擬投票を体験する園児たち＝福井市の仁愛女子短大付属幼稚園で